

生きがい

1月号

編集発行

新居浜市高齢者生きがい創造学園

新居浜市上原二一八一

代表者会 広報委員会

(☎四四一四八二六)

令和3年度学園祭 あかがねミュージアム展実施に当たり

高齢者生きがい創造学園
代表者会 文化委員長

飯塚 紀夫



令和2年2月から中国武漢に端を発した新型コロナウイルス禍は、第1波、そして第2波と全世界に感染をを広げ、日本国内においても、今や第5波に迄及んでも未だに収束の見通しが立たず、近々の第6波襲来が恐れられています。

この留まる処を知らないコロナ禍により学園も度々閉鎖・休園となり、今年度も令和2年度に引き続き幾つもの学園行事が催行中止の止むなきに至りました。しかしながら、新居浜市内の状況が落ち着きを見せられて来たことから当文化委員会関係サークルは、従来は3月に学園舎にて実施してきた「学園祭」をあかがねミュージアムにて開催することに致しました。

当学園では、平成29年より「趣味の作品あかがねミュージアム展」を開催していましたが、昨年度に続き今年度も計画の9月には開催出来ませんでした。しかしながら来る3月によろやく実施可能の見込みが立ちましたので、学園祭を兼ねて行うことにしたのです。只、これ迄の学園祭では各講座の発展もなされて来ましたが、今回は会場の都合によりサークルのみの出

展となります。

今回の学園祭あかがねミュージアム展は陶芸(亀池A、亀池B)、書道(書心、墨友、書楽、書峰、書龍)、美術(百描会)、俳句(あすなろ、つれづれ)、川柳(ねこやなぎ)、生け花(弥生、さつき)の各サークルが3月15日より20日の間。絵手紙(はなみずき、なでしこ、すみれ、あけぼの、レッドパール、ひよこ、令和)、写真サンシャイン、組み木(いとこのこ、このこ、ウッド)、短歌(みらい、いずみ)の各サークルが3月21日より27日の間に、これまでに製作した作品の中から自信・自慢のものを出品展示致します。

今後、新型コロナウイルス感染拡大に対し、三密を避ける等々の防御対策を行いつつ、各自が求めて来た生きがいの創出・持続・拡大を図り、学園内外の方々からのご助言、ご指導、ご協力を頂きたいと考えています。

日	曜日	午前	午後
4	火	ピアノ教室 別子GG(ゴルフ) 桃山E(卓球) ワルツ(ダンス) 絵手紙(なでしこ)	桃山A(卓球)
5	水	広瀬GG(ゴルフ) 桃山C(卓球) 書心(書道) アルカディア(ハーモニカ)	
6	木	別子GG(ゴルフ) 桃山D(卓球) 書龍(書道)	桃山E(卓球) 絵手紙(あけぼの)
7	金	ハッピーダンス教室 広瀬GG(ゴルフ) 桃山C(卓球) メヌエット(ピアノ) ねこやなぎ(川柳)	桃山A(卓球) 山雄会(カラオケ)
11	火	絵手紙教室 別子GG(ゴルフ) ハーモニー(ピアノ) 亀池B(陶芸) 桃山E(卓球) ワルツ(ダンス) 短歌(みらい)(短歌)	桃山A(卓球) リスト(ピアノ) 絵手紙(はなみずき) 亀池B(陶芸)

趣味と共に



令和二年にラージボール卓球教室に参加し、年間教えていただき、現在はサークル桃山Eにて卓球を楽しんで居ます。若い頃少しだけ卓球をしましたが、ラージボールは教室が始めてでした。卓球のラケットもシェークハンドは始めてと云うことも有り、うまく行きませんでした。コロナ禍と云うことで途中教室が休みとなった期間も有りましたが、無事に卒業できてサークル桃山Eへ加入させていただき、サークルの皆さんと毎週楽しんでいきます。

先日の十一月十八日(木)に桃山Eラージボール大会が有り、八チーム三十名の皆さんと楽しく試合を行いました。私たちのチームは「うさぎチーム」男女四名で連戦しました。惜しくも七位と成りフリー賞を戴き、とても楽しい時間でした。

卓球以外にも趣味が多く、釣り、盆栽、ゴルフ、蜜蜂、木札造り等を気分に応じて楽しんでいきます。生きがい十一月号の文の中で「趣味が多いと惚ける」を拝読し、ちょっとだけ多いかな?と思いましたが。

これからも趣味を楽しみつつ卓球を少しでも上達し、皆さんの足を引っ張る事の無い様に精進し、健康造りと何事にも安全第一を考え、サークル活動を楽しみ、年を重ねて行ければと思っております。そしてコロナが早く終息し自由に動ける日が来ることを願っています。

(船木 山田 人志)



桃山Eのみなさん

18 火	17 月	14 金	13 木	12 水	日 曜
篆刻教室 ピアノ教室 亀池B(陶芸) 別子GG(ゴルフ) 桃山E(卓球) ワルツ(ダンス) みどり(茶道)	墨友(書道) あすなろ(俳句) 亀池A(陶芸) いとこの(組み木) 桃山D(卓球) さくら(茶道) あかがねGG(ゴルフ) ラージボール卓球教室 あかがねGG(ゴルフ)	桃山C(卓球) ピアノ10(ピアノ) 茶道教室 広瀬GG(ゴルフ)	書峰(書道) サンシャイン(写真) 桃山D(卓球) ダ・カーポ(ピアノ) 別子GG(ゴルフ) 郷土を歩く 四季の組み木教室 写真教室①	書道教室 広瀬GG(ゴルフ) 桃山C(卓球) アルカディア(ハーモニカ)	午前 午後
幸齢社会を賢く生きる 桃山A(卓球) 亀池B(陶芸) ハーモニー(ピアノ)	いずみ(短歌) 百描会(美術) 亀池A(陶芸) ウッド(組み木) コンテニュー(ハーモニカ) 和音(ピアノ) 書楽(書道) 桃山B(卓球)	山雄会(カラオケ) 桃山A(卓球)	桃山E(卓球) のこのこ(組み木) 亀池B(陶芸) コーラスひろせ モーツァルト(ピアノ)	陶芸教室 桃山B(卓球) ピアノコンチエルト	

組み木サークル のこのこ

老眼との闘い



新年あけましておめでとございます。皆様におかれましては、新春を清々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。

組み木と出会ってから、早四年経ちました。腕の方はいっこうに上手にはなりません、とにかく切るのが楽しいです。あれも作りた、これも作りた、いと希望は際限なくあります。

ただ、かなり細かい作業ですので、老眼との闘いです。老眼鏡をかけ、マスク着用の為、レンズが曇ると眼鏡をすらしたり、拭いたりと手間がかかります。おまけに、夏は大汗、冬はかじかむ手をこすりながら、それでも切って切って切っています。

こんなにも楽しい組み木サークルなのに、来年度は休園とか。とても残念です。一年もブランクがあると、老眼の方も増々進んでいるとは思いますが、

しっかりメンテナンスして、再開に備えたいと思います。

「光陰矢の如し」あつという間にまた、皆さんと楽しいひとときが過ぎるでしょう。

(泉川 神野 栄子)



ピアノサークル ピアノ10

いくつになっても成長できる



我々のサークルピアノ10は、二〇一〇年に講座を終了した十三名で発足し、現在十一名で活動しています。

少しでも上手になろうと頑張っていますが、なかなか達しません。才能がない上に練習量も不足しているからだと思います。

他方、私の大好きなゴルフは、毎日三時間の練習を欠かしません。なぜ続くのかと言うと「日々わずかな変化と成長」が感じられるからです。

毎日のように課題が生まれ、それを解決する為に努力する。そして結果に一喜一憂する。その過程が実に楽しい。この年になっても成長を実感できるとは、なんと幸せなことかと感謝の毎日です。

ピアノはゴルフの様には行きません。山内恵里先生から「感情を込めて歌う様に弾きなさい」と言われますが、譜面を追うことに精一杯の身では、とても難しい注文です。

それでも弾くこと自体が楽しいので、ずっと継続して行きたいと思っています。

(角野 阪井 慶昭)

25	24	21	20	19	日
火	月	金	木	水	曜
					午前
ピアノ教室 絵手紙教室 亀池B(陶芸) 別子GG(ゴルフ) 桃山E(卓球) みどり(茶道) ワルツ(ダンス)	さくら(茶道) 書楽(書道) つれづれ(俳句) 桃山D(卓球) 亀池A(陶芸)	グラウンドゴルフ教室 ラーシボール卓球教室 のこのこ組み木 亀池A(陶芸) 桃山D(卓球) さつき(生け花) メ又エット(ピアノ)	書道教室 ハッピーダンス!教室 広瀬GG(ゴルフ) 桃山C(卓球) さつき(生け花) メ又エット(ピアノ)	写真教室② 別子GG(ゴルフ) 亀池B(陶芸) 桃山D(卓球) 書龍(書道) フレッシュ2009歩く	いきいきアート教室 桃山C(卓球) 広瀬GG(ゴルフ) 書心(書道) アルカディア(ハーモニカ) 美味しんぼ(料理)
					午後
桃山A(卓球) 亀池B(陶芸) リスト(ピアノ) 絵手紙すみれ	桃山B(卓球) コンテニュー(ハーモニカ) 亀池A(陶芸)	桃山A(卓球) 山雄会(カラオケ) なこみ(茶道)	桃山E(卓球) 亀池B(陶芸)	陶芸教室 桃山B(卓球) 絵手紙令和	

絵手紙サークル 令和

絵手紙奮闘記

代表者から、「絵手紙令和に原稿依頼が来ています。誰か原稿を書いたという人はいませんか?」皆シーン 誰もいない。「それでは、恒例あみだくじにします」(これに当たれば宝くじにも当たる確率が高いぞ!)と言った私に見事当たりました。宝くじを買ったがみごと外れました。

絵手紙講座に入園するまで、絵と名の付くものは小学生以降書いたことがなかったが、何故か講座に入ってしまった。

そこには美人でスマートな先生がいました。何故か絵手紙が好きになってしまった。

でも、いっこうにうまくならない。その後サークル令和現在男子2名、女子17名に入会し、私には難しい課題に頭を悩まして奮闘しているが、最近では体力も知力も衰えを感じているこの頃で、絵及び言葉がなかなか浮かばない。

ついこないだも言葉が浮かばなく、下に敷いている新聞の広告欄に書かれていた文章をそのまま写し提出。どうしようもない人だ。少しは頭を働かし考えよ!!と言っしかない毎日です。ヘタでいい下手でいい、後は笑ってゴマかすしかない。

コロナ感染者は少しずつ少なくなっています。新居浜市は11月28日現在でゼロが10日続いています。オミクロン株が新たに猛威を振るい出し、水際対策を行っているが、何時になったらマスクなしでの活動が出来るのか、その日を待っています。

(中萩 兵頭 廣行)

ピアノサークル 和音

やっと手に入れたピアノ



子供の頃の習い事で、『オルガン』の後は『ピアノ』という普通のレールに乗るのを面白くないと思つた私は、『琴』を選んでしまいました。その時からピアノのことはずっと気になっていました。定年退職をしたらピアノを弾こうと漠然と考えていました。そうしているうちに夫のピアノは買われて行ってしまいました。凄しいショックでした。

時は過ぎ、定年退職後、学園でピアノ講座を受講することに。が、肝心のピアノがありません。慌ててロールピアノ(いまは無用の長物)を買い求め練習をしましたが、最初のピアノの授業であまりの違いに愕然としてしまいました。息子のシンセサイザーがあることを思い出し、それで練習をするもピアノと全然違って練習になりません。今さら自分のためにピアノを買うわけにもいかず、ピアノを弾かせてもらえる所を彷徨い歩くことに。そこで知り合った人達に色々教えてもらうことができ、そのことは自分に変なプラスになりました。ピアノを習い始めて素敵な出会いがたくさんありました。そして、ピアノを譲って下さる方が現れ、その時は、「この世に神様は本当にいるんだ」と初めて思いました。夢のようでした。嬉しくて飛び上がりました。こうして手に入れたピアノだから大事にして、少しでも上手に弾けるように練習し、いつか『駅ピアノ』で弾いてみたいと思っています。

(泉川 伊藤 文子)

日曜	午前	午後
26 水	書道教室 広瀬 G G (ゴルフ) 桃山 C (卓球) 亀池 A (陶芸) アルカディア(ハーモニカ) クロワッサン(料理) ハーモニー(ピアノ)	桃山 B (卓球) ピアノコンチエルト 絵手紙レッドパール 亀池 A (陶芸)
27 木	写真教室① 別子 G G (ゴルフ) ダ・カーポ(ピアノ) 亀池 B (陶芸) 桃山 D (卓球) 書峰(書道) 絵手紙ひよこ	桃山 E (卓球) コーラスひろせ モーツァルト(ピアノ) 亀池 B (陶芸)
31 月	あかがね G G (ゴルフ) ウッド(組み木) 桃山 D (卓球) 墨友(書道)	桃山 B (卓球) コンテニュー(ハーモニカ) いとこの(組み木) 百描会(美術)
28 金	広瀬 G G (ゴルフ) 桃山 C (卓球)	桃山 A (卓球) 山雄会(カラオケ) なごみ(茶道)

※状況により予定を変更する場合がございます。詳しくは各サークル代表者にお問い合わせ下さい

ゴルフサークル 広瀬GG

グラウンドゴルフはスポーツ療法

私がグラウンドゴルフを始めて、四年が経ちました。学園のグラウンドゴルフ大会に、陶芸サークル「亀池A」のメンバーとして初めて友達と参加しました。

その時、はつきりと覚えているのは、卓球サークル「桃山A」の男性五人組と対戦したときのことです。個性豊かな、七十才以上にはとても見えない身の軽さ、点数暗算の早さ、達筆さ。この先輩の人生の歩みを勝手に想像して「人生懸命に生きて来られたのだ」と感じました。

今でも上達には程遠く、悪戦苦闘の毎日ですが、先輩の皆さんは、優しく時には厳しく、練習をしながら勉強させていただいております。広瀬GGには、いじめは存在しません。威圧感を感じる事なく、自由にのびのびと楽しんでます。皆で高まりあり、皆がエチケットマナー「そこに居合わせた人たちを不快にさせない言動」を大切にしているからだと思います。

この四年間、私がグラウンドゴルフをしてきて強く思ったのは、「心技一体」という事です。心に迷いや不安があると、三打で終わる所を、四打、五打打ってしまう。自分の思うようにならなくなる事を痛感しました。

コロナ禍により、今年度の学園のグラウンドゴルフ大会は中止となりました。当たり前だった事がそうではない事を色々経験しました。今、広瀬GGの皆さんとグラウンドゴルフができている幸せに感謝です。最後にOさん「点数良くないけど、ふくちゃん頑張ってるよー!」

(中萩 福本 京子)

茶道サークル なこみ

空閑茶味清



「キャラじゃない」茶道講座への入会を報告した時の友人からの一言です。確かにエアロビクスやダンス好きの私には、淑やかな茶道のイメージは縁遠いものでした。が、年齢を重ねていくうちに違う空気も感じてみたい気持ちと、綺麗に見える所作を身に付けたいという思いもありました。

いざ講座が開始されると、覚悟はしていたもののお稽古には付き物の決まり事の多さが想像以上で、覚えたつもりが次には忘れていくの繰り返しです。また、「覚える」と「身に付ける」は別の話で、何かとオタオタしてしまいます。

そんな私に金村宗裕先生からの繰り返し丁寧なご指導と心優しい先輩方のアドバイスは有難くサークル入会後も楽しく続けることが出来ています。何より季節に合わせた美しいお菓子と美味しいお茶が一番の魅力です。

昨年から続くコロナ禍で、随分と不自由な日常を経験しました。現在は、感染状況も少し落ち着いているものの新たな変異株の発見もあり、油断はできません。また近年の異常気象で四季の移ろいも感じにくくなっています。それでも茶道との出会いに感謝し、少しでも心豊かな日々を送る事が出来る様に願っています。

(金子 塩見 かおり)

俳句サークル つれづれ

五七五



古稀を過ぎた平成三十年に公民館で講座案内を見たのが、俳句と触れ合うきっかけでした。仕事、タバコ、趣味の鋼球打ち等々をやめたところでもあり、躊躇せず「俳句教室」を申し込みました。

作句では、五七五を外れたり、季語が無かったり、重なったりと迷いながらも一年が過ぎました。

講座が終り「さてどうしよう」と思案していたところ声をかけて頂き、サークル「つれづれ」に入ることが出来、大変感謝しています。元号も令和となり、気分も新たに。

何の世界でもそうだと思いますが、俳句の世界も入ってみると、奥が深くて広いことを知らされることとなりました。

現役時代に馴染んできた技術書と違い、韻文、文語、歴史的仮名遣いといったことに戸惑いながらも格闘しているところです。ただ、嫌いになることはないだろうかと実感です。

令和二年八月から、講師は阪上史琅先生から猪瀬美智子先生に変わりました。自己流の駄句ですが、ご指導よろしく願います。

最後に、サークルで投句した句のお気に入りの一句を書いて終ります。

鼻歌はユーミンの歌茄子焼く

(大生院 和田 恒夫)

陶芸サークル 亀池B

陶芸を楽しむ



講座からサークルへ移行し、土に向きあって早五年経とうとしている。(コロナ禍のため二年間はほぼ活動出来なかったが…) 日常使いの器等を中心に作陶してきたが、陶芸の奥深さと難しさを日々痛感している。

土の種類・練り方・釉薬の選び方・焼き具合等々、必然と偶然が重なりあった結果、焼成後の作品として目の前に現れる。手触りを確かめ、色や形の出来具合をじっくり眺めていると、「こう来たか…」と、苦笑いが出てくることも度々である。そして、「次回こそは…」と、再チャレンジを繰り返すが、なかなか満足できる作品に出合えないのが現状である。

しかし、どのような作品も私にとっては、唯一無二の存在であり、一つ一つに愛着がある。作陶した器が日常の食卓に並び、なぜかいつもの食事がより美味しく感じたり、家族との会話が弾む気がする。

また、食事処にでかけても、使っている器に興味を湧いたり、書店で陶芸関係の書籍を手にする自分に気づく。陶芸に携わっていると、ただ単に作品を完成させるだけでなく、日常生活に幅広く潤いが生まれてくる気がする。そこが大きな楽しみである。もうしばらく色々な作品づくりにチャレンジし、楽しんで行きたいと思っている。

(多喜浜 千葉 章一)

亀池Bのみなさん ⇨



⇨先生の視線の中、演奏中!!
コンテニューのみなさん

ハーモニカサークル コンテニュー

ハーモニカと私



私は、宇佐美 進先生・荻田正治先生のご指導のもとハーモニカ歴十二年を経過しました。

今思い出すにハーモニカは小学生の時に学校での授業がありました。それから、ずっとご無沙汰していました。なにか楽器が出来たら、いいなあと思っていたところ、生きがい創造学園講座生のハーモニカ受講案内があり、二度目に受講生となることができました。

サークルに移るとき、みんなで作ったサークルを「できる限り継続するぞ」という考えのもと、「継続」の英訳のコンテニューと決定しました。サークル立ち上げ当初からコンテニューに、所属していた人は大分減ってしまいましたが(当初三十五人 現在八人)、今まで愛媛県ハーモニカ協会主催の演奏会のコンサート及び生きがい創造学園の音楽の集い・学園祭は、一度も欠場したことはありません。

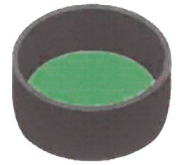
いよいよ今年も音楽の集い・恒例の学園祭が目の前まで近づいてきました。現在最終段階の仕上げ練習にみんなで励んでいます。私自身も自らのレベルアップを目指し頑張っているところです。

この生きがい創造学園で出来るだけ長く活動が出来ることを望んで今後も頑張っていきます。

(宮西 近藤 俊徳)

茶道サークル みどり

ふたたびの初心



お茶が恋しくて、脂肪も皺もつけて恥ずかしながら茶道に戻って参りました。心良く入会させて頂いた金村宗裕先生、「みどり」の方々に感謝です。何かとチーム「みどり」の足手まといにならないかと不安ですが、皆様よろしくお願い致します。

器と抹茶好きの義父と親友の旅立ちに、茶道からすっかり遠ざかりました。また、六十を前に仕事をせねばならぬ状況にズドンと落ち、泣く泣く受け入れ六十六歳迄勤めました。

退職後は「自分のしたいこと、好きな物に囲まれて過ごすぞ!」と決めたものの自由時間は意外に不自由なものだと知りました。病院通いに日々が過ぎ、一日が早いやら遅いのやら分けのわからない日々。

なぜ茶道が好きなのと問われればわかりませんが、茶道では自分の手や足に「こっちが右、こっちが左よ」と言い聞かせ、頭の混乱する所作が只々楽しい。

日常を忘れて畳上の人とのつながりで形成されていく茶道も人生も道は半ば、体力や頭は少しずつ低下し不自由を感じるなれど、先生方の心の教えに学園生活を笑顔で過ごせればと願います。

(中萩 明星 愛子(やすこ))

短歌サークル みらい

私は「打てば響く生徒」?

老練なる名医が診察する日なり

長き廊下に患者あふるる

載った。思わず大きな声で叫んだ。ある日の朝食の時だった。生まれて初めて短歌を作った。投稿した。それが愛媛新聞に載った。選者吉田みのる先生のファンになった。

短歌を習おうと学園の門をたたいた。泉 寔(まこと)先生は歌集「田舎教師の歌」を出版され、生徒に感想を求められた。先生の歌のなかに「バスに酔い便意もおしトイシなく」

林に入りて野糞垂れたり
私は少し下品な短歌なので批判する意味で次のような短歌を詠んだ。

野糞たれスツキリしたと短歌詠み

ジョークか下品か賛否両論

すると先生は、令和2年2月の「生きがい」の紙面で、私のことを「打てば響く生徒」と紹介された。先生曰く「京都冷泉家などは野糞などと読むと即破門、子規先生は新しい時代にふさわしい読み方として「雅」を排し「俗」に変えることを主張しており、子規先生の行き方を踏まえている」と述べています。

話題をかえます。歴史が好きで「天正の陣」の激戦地「高尾城跡」に登った。大きな松の古株があり、四三〇年前の戦を見ていたような気がし、体が震えた。

高尾城松の古株何語る

見たかも知れぬ天正の陣

(高津 神野 幸男)



【短歌みらい】短歌大会入選歌(令和3年)

○第72回愛媛歌人クラブ大会(10月31日ひめぎんホール(誌上))
(特選)

コロナ禍を会わぬ話さぬ日の続き近所の訃報を新聞に知る
船越 順子

(入選)

生きておればきつと良いことあるだろう
えのころ草
が逆光に照る
松本美智子

さりげなく君が寄越ししラブレター終活ですと添え書きの付く
尾崎 幸子

玉手箱あけた記憶もないけれど鏡に映る白髪の吾が
高橋 征子

○第38回今治文化芸術短歌大会(11月7日 今治市中央公民館)
(秀作)

老紳士ハーモニカ持ち夕暮れの海に向いて「ふる里」
を吹く
竹内 芳子

○第10回四国短歌セミナー (11月14日 リーガホテル高松)
(秀作)

手首には患者番号とバーコード家畜のようにまるびて
眠る
吉田みのる

学園歌壇

サークル「短歌みらい」

天正の陣を習いし古文書の読めないながらも迫力伝わる
コロナ禍に片仮名文字のふえゆきて検索するも直ぐまた忘る
紫陽花咲く新宮の里の出身だ真鍋さんがノーベル賞受く

神野 幸男

近藤佳代子

徳永 康夫

サークル「短歌いずみ」

いただきし義姉亡くなる前の杏子酒をしすかに飲みし今宵霜月
梓川の光る水面の対岸を落葉松林そいて続けり
茜色のこの服はもう着ないけど手離しがたい物語ありて

神野優津子

袖山 君代

近藤 美紀

学園柳壇

サークル「ねこやなぎ」

ねずみ算ネット増殖には勝てぬ 野上 哲也
若者の移住を誘う過疎の策 野口美智子
リモートじゃ盛り上がらない応援歌 服部 幸二



まだ夢が追える嬉しく歳もつづ

講師 井原みつ子

ご恵贈
お礼

◎ロビー生け花 令和三年十一月度

鴻上 美智甫 様(講師)
神野 早希甫 様(講師)

◎川柳にいはま 令和三年十一月号

にいはま川柳会 様



学園俳壇

サークル「つれづれ」

爽やかや見知らぬ母子挨拶す
沢庵の歯音も床し鄙の宿
口数のめつきり減りし冬蚊かな
池の面へ張り出す老樹返り花
茶の花やお菜の行き来垣根越し
枯尾花風の狼藉残しをり

高橋 智子

寺村 洋子

和田 恒夫

講師 猪瀬美智子

サークル「あすなろ」

十六夜や遠き昔の童歌
秋深し無人駅舎の古時計
爆音はドクターヘリかも冬さざる
障子穴覗けば母の笑顔あり
歳暮着くほつんと山の一軒家
重ね着やかなの一枚父のもの

真田 孝夫

真田 靖枝

森実美代子

講師 福永 立青



グラウンドゴルフ活動報告

東予支部普及指導員研修交流大会

12月9日(木)

【3R】

新居浜市GG場

男性 優勝 奥坂 功
女性 優勝 大賀久美子

【46打】

四位 白川多枝子

【55打】

第114回市GG協会親睦大会

12月12日(日)

【3R】

新居浜市GG場

女性 優勝 林 アヤ子

【50打】

四位 黒木 和子

【59打】

※林アヤ子氏は総合優勝を受賞



謹賀新年

本年も宜しくお願い致します。

私には、年越しのこの頃にいつも頭に浮かぶ言葉があります。

「去年今年(ことごとし)貴く棒の如きもの」
高浜虚子の句です。「貴く棒」とは?私は「一生を貴く自分の生き方・信条」だと考えています。
さて昨年はそれが貴けたか...後悔ばかりが浮かんでます。そして今年こそは...と思いを新たに
にするのです、毎年その繰り返し.....

「コロナ禍は落ち着いたように見えますが、新たな変異株の世界的な流行がみられ、まだまだ警戒を緩めないようにしましょう。(生きがい子)

この「生きがい」は新居浜市のホームページでご覧になれます。このQRコードをご利用ください。

